

山口市・済南市友好交流訪問団

「訪問記」

2006.7.11 |火| ~7.15 |土|



中国・済南市と友好都市協定締結21周年
並びに新山口市発足後最初の交流記念として訪問

「山口市・済南市友好交流訪問団」実行委員会



はじめに



この度は、山口市・済南市友好交流訪問団の皆様と一緒に友好都市である済南市を訪問することができました。昨年、済南市との友好都市協定締結20周年を記念し、市民の皆様と訪問する予定でしたが、諸事情により延期となり、今年、再度、実行委員会の皆様の御尽力によりまして、総勢67名の皆様と訪問することができました。済南市との友好を深めるにふさわしい訪問ができましたことにお礼を申し上げます。

済南市では、皆様と一緒に観光名所を回り、泉の街にふさわしい景観を楽しむことができました。また、皆様とお別れし、済南市や鄒平県の開発区を視察させていただいた際には、日本では考えられない規模の整備を拝見させていただきました。郊外への新都市建設に向けた様々な都市基盤整備が順調に進んでいるところを拝見し、古いものを大切にしつつ、新しいものを建設している今の中国発展の状況を肌で感じるすることができました。

済南市による歓迎会では、済南市側から子供達の演奏や歌手による日本の歌の披露などが行われましたが、訪問団員の方による書道吟や茶道の披露は中国から伝わった文化を日本で育て、伝承しているものとして、済南市の皆様にも身近に感じられたものと思います。このような市民間による交流が、お互いの文化を知り、理解を進めることのできる最も大事な方法の一つと考えております。

訪問団員の皆様は桂林・九寨溝のコースへと分かれ、済南で見・感じたこととは違った様々な事を体験されたと思います。中国という国の広さ、奥深さを知っていただくことが、皆様の今後の国際交流のきっかけとなることを期待いたしております。

今後とも市民の皆様による交流を中心に、国際化の推進に努めて参りますので、御支援御協力の程、よろしくお願いいたします。

平成18年11月 吉日

山口市長 渡 辺 純 忠

「山口市・済南市訪問団」 出発式市長挨拶

一言、挨拶申し上げます。

この度は、山口市・済南市友好交流訪問団に御参加いただき、誠にありがとうございました。

また、この様な訪問団を御企画いただきました実行委員会の皆様に心より感謝を申し上げます。

済南市とは、昨年、友好都市締結20周年を迎え、相互の訪問を予定し、今回御参加の皆様にも御協力をいただいておりますが、諸事情により残念ながら訪問を延期することとなっております。

今回は、民間訪問団60余名の皆様と友好都市である済南市を訪問できますことを大変楽しみにしております。

また、済南市を訪問した際には、茶道や書道吟など、日本文化の御披露も御準備いただいていると聞いております。この様な文化交流によりまして、済南市の皆様との友情がより深まりますことを期待いたしております。

済南市からは、先月20日に済南市長を始めとする政府代表団が来山され、短期間ではありますが、交流を深めることができ、「皆様のこの度の御来訪を歓迎いたします」とのお言葉もいただいたところでございます。

皆様方は、済南市訪問後、各コースに分かれられ風光明媚な観光地を訪問されるわけですが、異国の地であり、環境も異なっております。

出発まで十分に体調を整えられ、楽しい御旅程となりますことを祈念いたしまして、出発式の挨拶とさせていただきます。

平成18年 7月 4日

山口市長 渡 辺 純 忠

「山口市・済南市訪問団」 実行委員長出発式挨拶

皆様、今晚は。お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。実行委員長を務めさせていただいております大隅でございます。

市長の御挨拶にもありましたが、昨年の訪問予定が延期となり、今年、ようやく市民訪問団の皆様と友好都市である済南市を訪問することができます。

今年の2月から実行委員会を立ち上げまして、本日まで、4回の実行委員会を開催するとともに、諸準備のための幾度もの協議を行ってまいりました。御協力いただきました実行委員の皆様にお礼を申し上げますとともに、御参加いただきました皆様方、本当にありがとうございます。

行程につきましては、旅行業者と協議を行い、観光コースとして人気の高い2コースを設定しておりますが、目的は、友好都市である済南市を見ていただき、知っていただき、理解いただくことであります。

済南市では、市内視察と歓迎会への出席が主な日程となりますが、参加者の皆様の中から日本の文化披露を行っていただけるようお願いし、準備をしていただいております。

また、中国文化の披露もあるやに聞いておりますので、楽しみにしていただければと思います。

3日目からの各観光コースにつきましては、済南市政府の御好意により、済南市政府の職員が御同行いただけることになっております。安心して観光を楽しみ、良い思い出をおつくりください。

最後になりましたが、この様な機会を設けていただきました山口市長様、ありがとうございます。訪問団一同、済南市との交流の絆を一つでも多く増やしてまいりたいと考えておりますので、御支援の程、よろしく願いいたします。

以上で私の出発式挨拶といたします。

平成18年7月4日

山口市・済南市友好交流訪問団
実行委員会 委員長 大隅 博志

《日 程 表》

7月11日(火)

山口市→福岡空港→上海浦東空港→上海虹橋空港→濟南空港→濟南市

宿泊 濟南市 山東大廈

7月12日(水)

濟南市内視察 夕食は濟南市主催レセプション

宿泊 濟南市 山東大廈

7月13日(木)

桂林コース

濟南市→濟南空港→桂林

宿泊 桂 林 漓江大瀑布飯店

九寨溝コース

濟南市→濟南空港→成都→九寨溝

宿泊 九寨溝 中旅大酒店

公式訪問団

濟南市内視察→鄒平県

宿泊 鄒平県 雪花山リゾートホテル

7月14日(金)

桂林コース

桂林観光

宿泊 桂 林 漓江大瀑布飯店

九寨溝コース

九寨溝観光→成都

宿泊 成 都 岷山飯店

公式訪問団

鄒平県視察

宿泊 鄒平県 雪花山リゾートホテル

7月15日(土)

桂林コース

桂林→上海虹橋空港→上海浦東空港→福岡空港→山口

九寨溝コース

九寨溝→上海虹橋空港→上海浦東空港→福岡空港→山口

公式訪問団

鄒平県→濟南市→上海虹橋空港→上海浦東空港→福岡空港→山口

《研修日程》

平成18年6月8日(木)

旅行説明・中国語講座

平成18年7月4日(火)

出発式・旅行説明・中国語講座

山口市済南市友好交流訪問団に参加して



安部佳昭

7月11日、暑さのなかの中国済南市への訪問に一抹の不安を感じながら出発当日になり、早朝、心配したお天気にも恵まれ、集合場所の新山口駅で山口から合流の皆様を待ちながら、準備に落ちはなかったかしら、済南でのお茶席のことが頭

からはなれず、初めて訪問する中国への不安などなど……

バス2台で福岡空港へ、アツという間に上海へ。そして、済南市へと空路で到着、済南市内観光とおいしい中国料理で1日目が終わりに近づき、ホテルへ…夜、ホテルでの楽しいショッピングに疲れを忘れ、思い出を作りました。

2日目、美しい済南市内観光へ。中国の人達とのふれあいに言葉は通じなくても笑顔が素敵でした。午後早めにホテルに帰り、レセプションに出席のため、お茶席のかけり8名は和服に着替え、茶道具をそれぞれ持ちバスにて会場へ、一同宴会の席につきました。私はお茶席のことが気掛かりでしたが、済南市役所の方がロビーを見てくださいと案内されましたので、一緒に伺いました。ロビーにはきれいに席作りが出来ており、安心いたしました。済南市役所の方のお心遣いに感謝の念でいっぱいでした。御準備して下さいました、大隅会長様と山口市役所 交流室の宮崎様の並々ならぬご盡力のお陰と心からお礼申し上げます。

レセプションも盛会で、詩吟の岡先生、書の荒瀬先生が日本文化を力強くご披露され、素晴らしい成果だったと思います。

私達は一足早目に茶席の方に移りました。日本伝統の文化である煎茶道を日本茶(玉露)でおもてなし出来ることは、大きな喜びでもあり、一同心をこめて点前の準備をし、お客様のお席入りをお待ちいたしました。市長様始め、25名の方々がお茶席に着かれ、点前を始め、一煎目のお茶をお出しし、一同の皆様が美味しいと拍手を頂き、本当にうれしゅうございました。お菓子は日本から御干菓子を持参し、七夕に結びを合わせて両市の友好が深まりますように、の願いをこめたお菓子をお出したしました。皆様も大変喜んでいただけただよと感じました。続いて2煎目のお茶をお出しし、とても美味しいとお声があり、私達の気持ちを汲んでいただいた事と思います。日本伝統の茶道を中国で披露することが出来たことを、茶席を受け持ちました一同は誇りに感じていることと思います。又、私のつたない説明を通

訳して下さいました方にも、心からお礼申し上げます。お席が終わり、後かたづけを待って下さいました交流室の宮崎様、済南市役所の方々とお迎えの車でホテルへ…お心遣い有難うございました。私達一同も肩が軽くなったことと思います。

翌日からの桂林の旅は気分さわやかに美しい山々、川下り等中国ならではの風景に一生の思い出を作る事ができました。

訪問団と一緒に同行していただいた皆様、添乗の阿比留さんにも大変お世話になり、楽しい5日間を過ごす事が出来ました事、厚くお礼申し上げます。

山口市・済南市との友好訪問団に参加し交流を深めることに少しでもお役に立つことができましたなら、幸せに思います。

山口市・済南市友好交流訪問団 報告



飯田裕史

昨年「山口市・済南市友好都市締結20周年記念交流訪問団」がやむを得ない事情により休止となり、今年改めて「山口市・済南市友好交流訪問団」の募集を行い、一般市民52名を含む総勢67名で済南市を訪問しましたが、昨年に引き続き交

流事業実行委員会に携わってきた者としては、感慨深いものがありました。

記念行事・懇親会の中で、日本の茶道・詩吟・書道を披露しようということから、その道にご同慶の深い方々にも参加をお願いし、快くご承諾いただきました。茶道関係の女性の方は全員着物姿でお茶を振る舞われ、初めての試みである詩吟と書道のコラボレーションも含め、文化交流に大きく貢献したものと思われま

す。記念行事の翌日から桂林の観光視察に向かいましたが、北京五輪を控え世界から観光客を迎えるという気概がひしひしと肌を感じられた。桂林は外国人を含め年間1千万人の観光客が訪れるそうで、ハイライトの灑江下りはもとより中心部にある湖の周囲の木々をはじめ、橋・建物そして山々等が3色のライトに照らされ、昼とは違う幻想的な雰囲気を醸し出しており、多くの観光客や市民で賑わっていた。観光振興によるまちづくりを進める上で、夜の演出が如何に大切か大いに参考になりました。

参加された方々は、中国の文化・歴史そして市民生活にも大変興味を示され、ガイドをはじめとする先方の説明に熱心に耳を傾けられ、その姿勢に済南市外事弁公

室の康さんをはじめガイドの皆さんも大いに感銘を受けられ、本当の意味での国際交流が出来たのではないかと思います。

最後に参加された全ての皆様に対し心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

山口市済南市友好交流訪問団に参加して



石川 和子

「你好」「謝謝」という言葉しか知らない中国へ、あまり不安もなく福岡空港を飛び立ちました。それは、友好交流訪問団の一員としての旅だからでしょう。

上海に到着した時、周りには山影が全然見えず、道路は日本の倍位の巾が何処までも続き、国内移動は飛行機でと、改めて中国の広大さを感じました。

済南市ではおいしい中国料理などで、温かい歓迎を受け、永い永い歴史のある中国のすばらしい建物、景色を堪能いたしました。

又、桂林の灑江下りは、ゆったりした船で目を見張るばかりの絶景の連続、感動ばかりでした。

そして日本では経験できない買い物の値引きのやりとり、私達4、5人で集団心理も働いているのでしょう恥ずかしさもなく、値段を下げてゆく快感を楽しみました。

市長様、市の関係の方々、そして同行の皆様、大変お世話になりました。

帰りの福岡からのバスでは、反省会の日時が決まる程、皆の心が一つになり、笑いあり笑いありの楽しい旅でした。

忘れられないすばらしい思い出となります。ありがとうございました。

「謝謝」

中華人民共和国への第1歩 「友好訪問団・桂林コース」に参加して



伊藤典子

「ああ、楽しかった！」
というのが、この旅行を終
えての第一声だった。しか
も、こちらのコースを選ん
で正解だった事が、この上
なく良かった。サンデー山
口紙上で目にとまり、「いつ
かは訪ねたい地」と思って

いたので、申し込んだ。友人を誘ったけれど、今回は諸事情により「単独参加」となった。でも、独り寂しく参加したわりには、結構お調子者に振る舞うことができた。それは、こちらのコースでは、メンバーがおもしろおかしくて、実に愉快だったからである。

一通り訪問団行事をこなしてからは、市長殿他…お偉いさん達と別行動になり、メンバーは本領を発揮し始める。ガイドの王・ゐ・孫さんの説明も的を射て良かったが、バスの中や食事時のメンバーの談が、それ以上に楽しかった。お陰で顔のシワは増えるし、三段腹はバス揺れ状態だし、寂しい思いをすることなく過ごすことができた。

市役所での研修会では、知らない人に囲まれ話し合う事もなく、不安材料一杯で出発日を迎えた私だった。バス車内で0実行委員長殿の話が、次第に不安を解消させてくれた。私の慎ましやかな態度も次第に横着になり、初対面のお兄様・お姉様方に対し友達感覚で物申し出すし…。「大変失礼しました」と謝らねばならない。

何はともあれ、「中国は、広かった・貧しかった」という印象である。道路事情はどうかい？右側車道で右運転席車両はよいが、人間は交通ルールを守らない。10車線道路でも、歩く・自転車に乗る・バイクに乗る人・人・人…。バイク4人乗りを見たぞ！ノーヘルだったぞ！横断歩道でもないのに、渡る・横切る人・人・人…。「中国人民は、なんちゅうこっちゃ?!」又、一人っ子政策で各家庭は「一人以上の子は生むな」とな？我が家の3人はどうなるん？日本男児は法律を破らねば暮らしてはゆけぬぞ。人もさることながら、気候はどうかい？暑いかな、暑いかな…。ガイドさんの説明では、雨季が終わると、猛暑がやってくるらしい。人民は、上半身裸の人も多く、鋼鉄のように背中が黒光りしている人が多かった。日中温度が30度以上とは、体温は微熱を通り越している。37度～40度もあるが、42度になると学校や職場は「休日」宣言するという。そりゃ、勉強や仕事にはならないだろう。働く頭

が回転せんじゃろう…。

桂林市の説明では、「ビーフン」が主食という。共働きが多く、家庭では食事を作らず外食が多いという。主婦にとっては、うれしい話だと思う。学校・職場の周辺に「ビーフン屋」があり、子供も大人も朝食はそこで済ませる。一人っ子を大切に育て、小学校3年生までは、送迎を親や祖父母で行う。朝に登校、昼に迎え自宅に食後に昼寝、午後に登校、夕に迎え、と学校を3往復するらしい。日本では考えられない。

桂林は、よかった！瀧江下りの景観はすんばらしかったが、それ以上に、女性陣の買い物パワーは凄かった。30分経過後からは、景観そっちのけで「値切る・値切る…」お陰で私も安価で買うことができた。日本人は凄い。人民も凄い。売る方も、買う方も必死だから…。

この旅は、エエ勉強になった。初めての中国行きだったが、時間とお金に余裕があったら、是非再訪したいと思う。しかも、このメンバーで…。

また、どこぞでお会いしましょう。本当にありがとうございました。

心に残る旅



チンシアン ホーファイ
井上 和 恵

暑い旅でした。でもとっても楽しい5日間でした。今回お煎茶の会「日本礼道小笠原流」より8名が参加させて頂きましたが、着物や萩焼などのお茶道具一式を持参しましたので大変気を遣いました。幾重にも包装

し、自分が入れそうなスーツケースで運びました。

2日目のレセプションの後25名のお客様にお茶を差し上げましたが、お茶を点て終わると思いもかけず拍手が沸き上がり、日本では経験したことのない感動を覚えました。済南市と山口市の市長様達5人にお茶をお配りしましたが、にこやかに微笑みかけて下さり、緊張も解けホッとしました。お菓子は「七夕」と「結び」でしたが、“友好を結ぶに掛けて使用しました”と通訳されると拍手喝采でした。そして、「お茶が美味しい」とおっしゃった時は本当にうれしく思いました。日中友好の旅でお点前をさせて頂きました事は、私にとって忘れ得ぬ思い出となりました。お世話下さいました皆様に心よりお礼申し上げます。

山口市済南市友好交流訪問団に参加して



大田 和子

あっという間の5日間であった。福岡から1時間半で上海浦東空港へ!!ここが中国なんだと胸躍らせて降りた上海は暑かった。バスで観光後いよいよ目的地済南市へ。

到着は夜で何も見えなかったが、翌日は済南市観光である。百脈泉、趵突泉、大明湖の美しさにびっくり、その夜の交流会は素晴らしかった。二度と来ることの出来ない迎賓館、とても立派で緊張した。市長様はじめ皆様方の温かいおもてなしには心から感激であった。おいしい料理も忘れられない。

翌日から桂林へ。「灑江下り」は想像以上にまるで水墨画の中にいるようで感銘した。現在もはっきりと目に焼き付いている。又、船中で、皆で値切りながら買ったお土産も楽しかった。至れり尽くせりの中国の方の心配り、そして今回の旅行を実施して頂いた山口市長様はじめ市の方々、日中友好協会の方々に心からお礼を申し上げます。有難うございました。

山口市・済南市・日中友好の旅

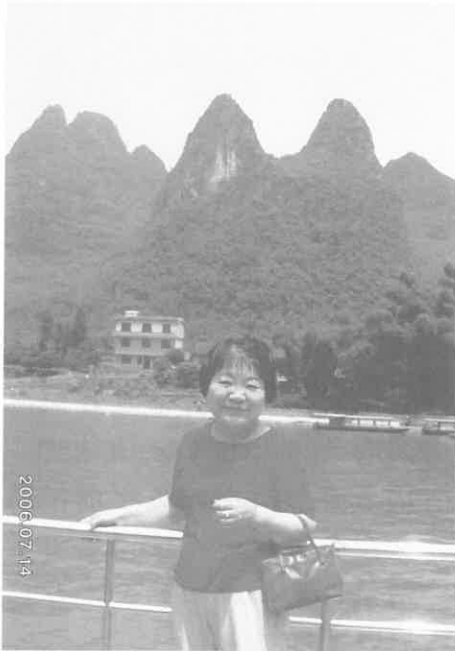


開 作 栄

中国桂林への旅は大隅さんに誘われました。しかし、家族や職場の反対もあり迷いました。でも、両親が昔行って「よかった」というのを聞いていたので行くことにしました。

多少のトラブルはありましたが、そんなこと気にしなくてもよくなるような桂林のすばらしい、又めずらしい山水画の絵のような景色やラスベガスのショーにも劣らないような雑伎団のショーなどに感動し、行ってよかったなという旅でした。

友好交流訪問団に参加して



河本 香代子

今回の旅は暑さと中国の人々の熱気に圧倒された5日間でした。

昨年の排日運動は何だったのでしょうか？現在も「靖国問題」等政府間では難問がありますが、人々は別の事として友好的に見えました。日本の文化の多くは中国伝来のものです。前茶もその一つです。交流会で中国の方々に煎茶を差し上げる機会を持つことが出来、大変有意義な、私達煎茶の会一同忘れる事のできない嬉しい事となりました。

旅行中感じたのは、中国の人々のパワーです。商売する人達の態度、価格交渉は日本人には真似できない。脱帽。又農村近郊のゆったりとして、非能率的な働きぶりに見えながら近代化されている環境整備に中国の底力を見た気がします。

経済・産業面だけでなく人の心の交流が必要です。これからも継続して友好を深められる事を期待します。

山口市・済南市 友好20周年記念訪問団に参加して



小枝原 千歳

私達は、煎茶の方で参加させて頂きました。海外で、お茶を差し上げる様なこと、夢にも思いませんでした。とても不安でしたが、皆様に喜んで頂き、大変嬉しく一安心致しました。

また、桂林での灘江下り

の美しかったこと、まるで掛け軸の墨絵の様でした。

2度と出来ない貴重な体験をさせて頂き、本当に有難うございました。これからも両市の益々のご発展をお祈り致します。

訪 問 記



小 松 道 子

山口市・済南市友好交流団の一員として参加させて頂きましたが、数年前に訪れた時と比べ、街はとても活気にあふれていたように思いました。

両市の長年に亘る友好努力が感じられるパーティーもなごやかで楽しいひと時でした。

観光地では、広い中国の一部とはいえ、日本ではおよそ考えられないような物売りの仕方にただ驚くばかりだったり、幻想的な桂林の山水はまさに水墨画の世界に紛れ込んだかと思える風景を堪能しました。

雑伎団のショー、ライトアップされた桂林の湖の遊覧等々、笑いの渦の中、あっという間の5日間の楽しい旅でした。

山口市・済南市交流訪問団に参加して



佐 伯 須 美 子

前日の台風による突風や余波の影響もなく楽しく、有意義なそして感動の旅となりました。済南市の歴史と広々とした都市・近代化そして昏々と湧き出る泉の町にびっくりするとともに、

あたたかく出迎えていただいた市長さんをはじめ市当局の皆様の熱烈な歓迎に恐縮とうれしさ、感動の体験でした。

最後に訪れた桂林は私の期待を裏切ることなくすばらしい絶景でした。まさに墨絵の世界を見るようでした。山口市長さんをはじめ、大隅会長、その他お世話下さった皆様のお陰で最高に楽しく、そして済南市のもっと違った所を行ってみたいと思わせる旅となりました。帰路はとうとう雨になりましたが私にとっては別れの涙のように見えました。

友好交流いつまでも



重田道夫

訪中の企画実行お世話された方々、ご一緒参加の方々、お世話になりました。事前配布冊子山口市国際交流は実際のことがよくわかり、大変助かりました。

2日目、友好交流について良薬を見聞した。

・朝TVドラマ 残忍な日本兵を中国の若者男女が殲滅・済南ガイド親切誠実Iさんが済南で日本軍が中国人7千人殺したとマイクを手に。彼の心情を推察。友好交流の思いのなか、晩の歓迎会は印象的だった。見て聞いて、心から拍手を送った。あの良薬副作用か日中戦、文革、それに幼少時の渡満州引揚げが脳裏をよぎった。すぐ2時間が過ぎ少年宮、会に従事した皆さんを思い、お茶会を想像しながら退場した。3日目から壮族自治区桂林観光。絶景の連続、この絶景との共生、絶景光景観賞等、それぞれ皆が関わりあっていることを見て実感した。同行の中国の方は親切だ。別れのころは、あちこちでなごり惜しんで別れのことばを交わされている。

訪中の機会をありがとうございました。

山口市・済南市友好交流訪問団に参加して



清水良子

山口市・済南市友好交流訪問団の一員として、7月11日から4泊5日の旅に初めて参加いたしました。福岡空港を出発し上海に着いて、バスの車窓からの眺めはあちこちの建築ラッシュ。オリンピックに向けてのみならず、

中国の底知れぬ経済発展を実感いたしました。

済南市は人口590万人の大都市で、更なる工業都市としての確立をめざし、広大な土地に広々とした高速道路網がありましたが、車両数を制限する意味もありナンバープレートを取得するには75万円必要だと現地のガイドさんの説明を聞き、人口が減少する日本も人口が多すぎる中国も悩みはあるのだなと思いました。

翌12日、両市の記念レセプションでは、着物を着て日本の茶道を披露し交流を深める行事に参加できたことは生涯の良き思い出となりました。

数年前から待ちこがれた桂林の灑江下りでは幽玄の世界に浸れることを望んでいましたが、船の両サイドにやっと足をかけてふんばり、ガラス越しに土産品を売る人達の商売熱心には、参ったといった感じでした。ガイドブックに仙人が出てきそうな山々とか桂林の風景は天下一と書かれていたので想像しすぎたのでしょうか。

全日程、楽しい楽しい旅でした。ありがとうございました。

友好交流・済南市を訪ねて

梶田善藏
清子



昨年、済南市訪問が中止になり、今年新たに訪問すると聞き参加いたしました。自分の思った旅とちがい色々な事を体験しました。国がかわれば生活も変わり済南市に着いてびっくりする事ばかりでした。



早朝山口を出発し、済南市に着いたのは夜10時すぎで、初日から疲れが出て、翌日、市内観光ですが、第一に交通のマナーの悪さに驚き、バスの中から何度かヒヤヒヤした。ちょうど子供も夏休みに入っていました。子供達は貧困の差があまりにもひどく、済南市民の着ている洋服でもその差でわかりました。学校に行っていない子供もいるそうです。

学校に行っても大変な努力をして、自分の生活を得た人は幸せだが、観光して居ても、3才くらい～小学生くらいの子供が観光客の歩

く前、横、後と数えきれないほどのドライフラワーを出して、お金をほしがる、大人も子供も微笑のある顔はしていない。

日本ではぜったいに見る事の出来ないありさまでした。お金になる事だったら、大人も子供もなんでもする様だし、よく働く国です。外国人にたくさん来てもらうために、きたない町も2、3年もしたらびっくりする様な町に変えてしまうそうです。日本はまだまだすごしやすい国だと思ったし、もう10年もすれば日本は中国に生活も経済もこされてしまいそうです。

今回の訪問で、3年後はどれだけ変わったか、もう一度済南市に行ってみたくいですね。

山口市・済南市友好交流訪問団に参加して

花 田 忠 義
千代子



山口市市民館前を私達の1号車（桂林コース）と、2号車に分乗し、定刻を若干遅れて出発だ。途中、新山口駅からの参加者を乗せて、福岡空港を目指す。

車中では、大隅実行委員長の事前研修もあり参加者

一同、和やかな雰囲気の中に福岡空港に到着。

航空チケットをもらい、出国審査を済ませ、フライトを待つ。中国最初の空港は上海である。非常に暑く感じるというか、日本に比べて暑い。外灘地区を見学し、改めて中国の大きさを感じる。

ガイドから時差があるので1時間遅らせる指示があり、時計を戻す。夕食を済ませて、済南行きの飛行機に搭乗し、済南空港にて済南市の歓迎を受け、ホテルに入り初日が終わる。明日の予定を考え、速やかに就寝する。

2日目は、済南市内観光である。大明湖や趵突泉、博物館を観光し、この旅行の趣旨とも言える済南市の友好都市記念行事へ出席し、済南市長を始め市民の盛大な歓迎を受け、懇親会では心行くまでの中華料理を堪能した1日であった。

次の日は、飛行機を乗り継ぎ、ほぼ1日移動であったが、象鼻山の観光地の物売りには閉口した。

4日目は、私をもっとも興味があり、観光したかった桂林である。遊覧船での川下り、見る山々が素晴らしく私を山水の世界へと誘うようであった。ただ、昼食のバイキングは一寸咽喉ぶとく感じる料理方法であった。

今回の友好交流訪問団に参加して、皆様方の温かいご好意に感謝を申し上げ、終わりとします。 謝 謝

友好交流訪問団に参加して



原 妙 子

台風発生で心配しましたが、台風にも遭わず、雨にも降られず、快適な旅行でした。

対日感情の悪い中国と、思っておりましたが、済南市外事弁公室の方々の親切なもてなしには、感激いた

しました。

10年前に、中国に行きました時には、建物や、広告に、日本の文字を多く見ましたが、今回は、日本の文字を見ることもなく、また、機内の乗客はほとんどが日本人でしたが、機内の放送は日本語でのアナウンスもなかったのは、たいへん淋しく思いました。これも、対日感情のあらわれでしょうか？

私達の旅行のお世話をしていただいた、近畿日本ツーリストの方の細かい気配りには、感激いたしました。特に観光めぐりを終えて、涼しい車中に入ると、いつも冷たいおしぼりが、準備されていたのには、たいへんうれしかったです。また、添乗員の阿比留さんの、ユーモアあふれる会話にはお腹をかかえて笑いました。楽しい旅行でした。

山口市・済南市友好交流訪問団に参加して



原 田 芳 子

他では味わえない貴重な体験をさせてもらいました。いい思い出をありがとうございます。感謝しています。

済南市でお煎茶を一煎さし上げました



平尾幸代

私は、初めての中国大陸への旅、わくわくしながらお煎茶のお道具やお菓子を大切に詰めた大きなかばんを手にし、福岡空港から機上の人となりました。

上海・済南市へと続く飛行機・バスの乗り継ぎに、

広大な地に抱かれた人々の悠久の営みを垣間見て、私の乏しい想いの中で再認識し、街々の活気や発展へのエネルギーに目を見張りました。済南市内の名泉に心洗われ龍山文化の突端に少し近づけたかとも嬉しくなりました。

「山口市・済南市友好都市」記念行事の懇親会も済南市の心尽くしのお持てなしに感謝申し上げます。子供さん達の音楽や詩吟に心癒され、お酒もご馳走も美味しくいただきました。こちらからも中国渡来の書や詩吟・お煎茶の日本に根付いた文化を披露され、私も日本礼道小笠原流山口周防支部の仲間7名と煎茶の茶席を心をこめて行いました。一服の煎茶と「友情」の一口の和菓子（七夕と結び）は、済南市の方々に喜んでいただけたのではないのでしょうか。同じお茶の木から育ったそれぞれのお茶文化、中国茶の奥深いことも今後の勉強です。

翌日は灘江下り、自然が作り出した桂林山水の縮景・古い歴史が織り込まれた古王城や古塔の名勝風光に陶醉した一時を過ごし、竹筏や自然に抱かれて生活している人々の様は、自分が穏やかな素直な心を取り戻した瞬間でもありました。

旅の途中でガイドさんの「過ってこの地で不幸な出来事が起こった。」との言葉に心痛め、今後両国の友好を更に心に誓ったものでした。

この友好交流訪問団に参加させて頂いたこと、関係各位に深く感謝申し上げます。

「山口市・済南市友好交流訪問団」に参加して



廣中 千恵子

7月11日～15日新「山口市」発足後、最初の訪問団。いろいろな事が興味深く、また念願の桂林の旅も兼ねていたので参加した。

一路、上海経由で済南へ。上海、済南のめざましい発展ぶりには驚愕した。12日は市内の泉をめぐる。走行中、ガイドさんが「ここは日中戦争の時、ここから日本軍が進軍したところです。」とさりげなくガイドされたのですが、私の胸中をナイフで抉られた思いがした。世界の平和を殊更に願った。交流会では2期の留学生であられた先生と同席。昔の山口を懐かしがられ、用意された素麺をととても喜んで食されていたのがとても印象的でした。大盛会のうちに交流会は終わり、13日は念願の桂林の旅。種種雑多に交錯する通行を繰り返して、スクールに降られホテルへ。夕刻、小雨の中、市内のメインストリート、レイクパークを散歩。商魂逞しい売り人、子供の執拗な金銭せびりには閉口した。14日はハイライトの灑江下り。ゆったりとした時の流れ、幻想の世界の奇岩や兩岸に目をやりながら冠山へ。洞内は幽玄の中に引き込まれるかのような大自然のパノラマ。圧倒され、しばらくは呆然と佇んでしまった。夜は劇場でバレエと雑伎団のショーを楽しんだ。15日は帰路へ。旅行中、添乗員さんガイドさんの心ゆくまでの気配り、また車内は笑い声が始終絶えず和気藹々。あっという間の5日間。楽しい旅を惜しみ、再会を皆で誓い合って帰路に着いた。

最後に山口市と済南市の益々の友好、発展を願っています。また、同行者の皆様のご健康とご多幸を祈念いたします。本当にありがとうございます。楽しかった。

山口市・済南市友好交流訪問団に参加して



廣中 美津子

この度、山口市・済南市友好交流訪問団参加者の募集を目にした時、以前より友好訪問とはいかなる事かなされるのかと大変興味を持っておりましたので、この機会にと思い、参加させて頂きました。

7月12日18時よりの記念行事懇親会では、双方市長、議長の挨拶から始まり、書の交換、又済南市よりの歌のプレゼントは「北国の春」でしたが見事な日本語の発声、音量に圧倒させられつつも日本の茶道の撰待等、終始和やかな雰囲気の中での交流は実に見事でした。事前に予想していた堅苦しさなどは全くなく、実りのある体験ができました。

到着の11日より、済南市の温かい出迎えを受け、12日は朝から市内観光にと又13日よりの観光コースは桂林にしましたが、済南市政府外事弁公室の康元松さんが15日帰国の上海空港まで常に一緒に行動された事に対し、済南市及び康さんに心よりのお礼申し上げますと共に、両市の益々の繁栄を祈願いたします。

最後に常に笑いの絶えなかった和やかな参加者の皆様、近畿日本ツーリスト担当者阿比留さん及び関係各位の皆様にご心より御苦勞様、ありがとうございましたとお礼申し上げます。

山口市・済南市友好交流訪問団 桂林コースに参加して

藤 本 忠
静 子

「家内は違いますが、私は生まれて初めてパスポートを取り、家内に引かれて、この旅行に参加しました。」と自己紹介すると、どっと皆さんの笑い声があがりました。



とにかく、外国旅行は初体験で大変不安でしたが、関係の皆様のお世話で、楽しい旅行が出来大変感謝しております。旅行前から心配していた台風3号、4号の影響も受けることなく、実に幸運でした。

見る物全て珍しく、上海空港の待合室に「老幼残孕 休息室」と表示したコーナ

ーがあり、そばに女性の係員が控えていました。中には深々としたソファがあり、誰も入っていません。日本で言えばシルバーシートで、同様な絵のマークも付いていました。70歳以上は入れるとのアドバイスで、パスポートを見せて休ませてもらいました。これくらいの表示なら解りますが、難解な略字が多く、家内と二人して何の略字か下の英語も見ながら、クイズを解くように、推測するのも愉快でした。

済南市の懇親会では、電波万能の時代ですが、直接のふれあいの大切さを実感しました。日中の書の交換、透きとおる少女の吟声等々素敵でした。着物姿のお点前も大変好評だったようで、関係の皆様ご苦労様でした。

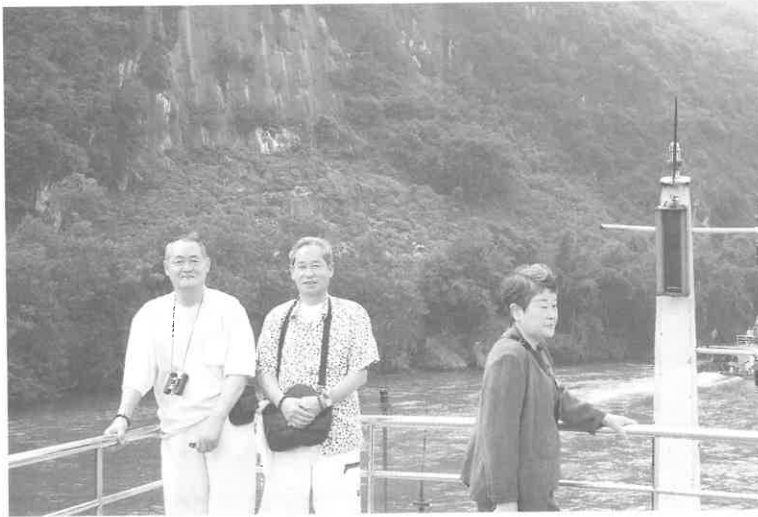
上海、済南、桂林と3都市を見て廻りましたが、昨今日本では見られない、オート三輪車、発動機を付けた荷車、無灯火自転車バイク等、一方、リニアモーターカー、高級車ありで、半世紀前と現在が混在していました。バスの中から人々の生活の一部を垣間見られ大変興味をひきました。物売りの子供たちも多くいましたが、済南市の趵突泉で元気の良い小学生らしい一団に出会いました。家内が「一人っ子政策のせいで大事に育てられているのか、いい顔をしている。」と感心していました。

桂林の風景はさすがでした。夜、四湖めぐりのクルージングに参加しました。建物、橋、樹木、山が色とりどりにライトアップされ中国的だと感じました。折り返しの船内で、突然、二胡による演奏が始まり、第九の「歓喜の歌」、夜来香、北国の春など10曲ばかり、最後は蛍の光でした。家内はM夫人と一緒に、曲に合わせて歌い、下船の際、演奏者に通訳を通じて歌が上手とほめられ「謝謝」。この旅の一番の思い出となったようです。

翌日灘江下り、奇峰、奇山、岸辺の水牛のんびり顔、竹の筏で走る観光船に横付けする物売りも珍しかった。途中、鍾乳洞に入り、ここも五色にライトアップされ規模も大陸的な感じでした。

夕刻、雑伎とバレエを組み合わせたダイナミックなショーで、最後の夜を楽しみました。旅行を終え、私は体重が減りましたが、家内は増えたといって嘆いていました。

龍の国を、訪ねて



松 岡 豊

歴史の国 中国、現在世界一の発展途上国として、目覚ましい飛躍を続け、産業大国と成りつつ有るアジアの大国中国、わくわくしながら大都市上海に降り立った。私の想像以上の町でした。山口市の友好都市済

南・中国一の景勝地桂林と、毎日昼夜に渡り楽しい旅をさせていただきました。特に済南での盛大な歓迎式、壮大なる大明湖、別世界の風景桂林、秋芳洞にも優る。蘆笛岩鍾乳洞、美しい夜の湖上遊覧、そして素晴らしい雑伎団のショーと感動の連続でした。そして又、豊かな白い顔の人々、貧しく黒い肌の人たち、異常な子供の物売り、物乞いと、少し悲しい中国の裏側をみることも出来ました。そして私的にはありますが、尊敬する叔父の名誉市民の記念碑にも訪れる事ができました。

市長以下職員の方々を始め旅行をサポートしていただいた阿比留様を始め皆様方、そしてご一緒させていただいた親切で楽しい仲間との旅は、私にとりまして素晴らしく、一生心に残る思い出になりました。

この次は是非、妻と同伴で参加させていただきたいと思います。

本当にお世話になりました。

はじめての中国旅行に参加して

松 永 任 央
協 子

昨年の訪中計画が、諸事情により中止となり残念に思っておりましたが、新市長のもと再計画されたので早速応募し、初めての中国旅行となりました。

上海空港より、上海市の中心部へ近づくにつれ、大都会へ変貌しつつあるビル群を遠くに見ながら、途中の解体されつつある古いレンガ造りの家並みを見て、今中国がオリンピックや世界万博に向けて大きく変わりつつあることを実感しました。又、市内の古い建物群と対岸にそびえ立つ上海の象徴的タワーに中国の歴史と、経



済発展の勢いを感じました。

済南市の公式レセプションは初めての体験で少し緊張しましたが、両市当局者の気配りと、諸々の配慮や友好を演出しようとしている各員の姿に感銘を受けました。

済南市をはじめ、都市インフラ整備への取り組みは、ガイドさんの「3年前に完成した」という片道5車線

の国道の規模だけを見ても、将来を見据えた国家の取り組み姿勢がうかがえます。ただ、美しい道路と街路樹の向こうに見える貧しいと思われる人々の家々を見て、発展途上にある国の矛盾と貧富の差を感じざるを得ませんでした。

しかし、開発と観光行政への取り組みには目を見張るものがあり、日本も見習うべきところがあるのではと思いました。

桂林でバスから降りた途端に「千円」「千円」と寄ってくる日銭稼ぎの人たちにはうんざりするものを感じましたが、大瀑布ホテル前の5つの湖の夜景観光船に乗船してみて、中国の特徴を生かしたライトアップがすばらしく、旅情を満喫させ感動を与える取組には、その関係機関の方々の意気込みを見る気がしました。ただ、桂林灘江下り途中に船を降りて見学したすばらしい洞窟内での、赤、青、黄、等々のカラフルなスポットライトは、おとぎの国にいるようでファンタジーな世界に入りこんだ気分させましたが、自然の美しさを「良し」とする日本人の私には少し残念な思いがしました。

しかし、確かに桂林の山々と河の風景は美しく、墨絵の世界を目の当たりにした感動は、今後も中国旅行の思い出として心に深く残ることでしょう。

中国の国土の広さ、人口の多さ、豊富な地下資源、等々未来への成長力は日本を陵駕していくであろうことを感じ、我が国もそれに負けないだけの、人の育成、色々なノウハウ技術開発力等、世界の中で、小国ながら大国として生きて行ける力を若い人達に託したい思いが今の気持ちです。

訪中してみて、みやげ物店での中国人の商魂の逞しさには唯々、圧倒される思いでした。一つ残念に思ったのは、過去の旅行記念にと私のトランクに貼り付けていたシールがはぎ取られていたことでした。何のためにはぎ取られたのだろうか!?と思わずにはいられませんでした。

何はともあれ、済南市政府の方々の訪問団一行への配慮と親切な対応は、私達の中国旅行を最後まで楽しくして頂き、大変嬉しく思いました。

最後に、今回企画推進された山口市と諸団体各位の皆様、並びに近畿日本ツーリストの方のご配慮、ご苦勞に感謝申し上げます。

中国を旅して



松原靖子

中国の上海空港に降り立った時、スモック等で空がかすんで見えるのにびっくりしました。広大な土地、ビルの多さと、そして前回来た時よりも車が増えているのには驚きました。設備

が追いつかない程、現在急速な発展をとげている事が伺われます。

観光の人を見ると大人や子供たちが集まってくるのにはびっくりしました。次のオリンピックが北京で開催されますが、他事ながら心配です。

今回の旅行で中国大陸の広大さに驚き、なかでも桂林の美しい山水の絶景はいつまでも忘れません。また、機会があれば行ってみたいと思っています。

この度は大変お世話になり、ありがとうございました。

訪問記



矢儀淳子

今回、日本礼道小笠原流煎茶の会より参加しました。済南市で日本茶、和菓子を味わっていただくセレモニーがあり、またとない貴重な経験をさせていただきました。

着物を着てのお茶席は、日本の民族衣装としての美しさと文化を再認識しました。

又、中国の方と、お互いのお国事情等話し合う中で、今こそ私達は友好と理解を深めていくことが、いかに大切であるかを痛感しました。

本当に有意義な旅となりました。

山口市・済南市交流訪問団に参加して



秋 本 茂 雄

この度の済南市への市民友好交流訪問団に参加させて頂き有難う御座いました。又、渡辺市長をはじめ公式訪問団の皆様方には大変お世話になりました。

私は1990年に山口市・済南市友好都市結成5周年記念

（植樹祭 山口フェア）に山口市公式訪問団に市議会議員として済南市を訪問いたしました。その後桂林等に観光旅行で中国に行きましたが、中国の発展、成長は目覚ましく驚くばかりです。済南市との友好都市協定締結以来21年を経過しておりますが、友好親善の絆が益々深まっていることは誠に喜ばしい限りであります。

小泉首相は個人的なつまらない意地を捨てて中韓両国民の感情を逆撫でにして国益を損なうようなことは絶対にやめてもらいたい。又ポスト小泉は冷え切った日中関係を解決してもらわなければならない。又柔軟外交、特にアジア外交の転換の出来る人材が時期総理になることを強く願ってやみません。

今回の観光は悠久の時間が育てた世界遺産の九寨溝はさすが、今中国で一番人気の観光地だけあって想像を絶する素晴らしいところでした。又、標高3,500メートルの高地に建設されている九黄空港には全く感動いたしました。心配した天候にも恵まれ、又素晴らしい同行者にも恵まれ、御蔭様で本当に楽しい思い出に残る旅ができましたことを感謝しております。

最後に済南市との友好親善が末長く続くことを願いたします。

溪 声 山 色

山口書道協会 会長 荒 瀬 長 州
道 子

初めての〈書道吟〉披露の際、二様の書体＝隸書・行草書を試みたのが時間超過の原因で楽しい宴会の興をやや殺いでしまったことが残念でした。一方、済南市の書道家の方は書・吟ともに同一ペースで、可愛い女兒の中国音とともに快い響きが



印象に残りました。

今後は前もって吟・書双方の協力を研究せねばなりません。

九寨溝見学は心を洗われる旅でした。自然の壮大な力とともに現地の人々の一途な生き方に感動しました。豪快な滝に頭をたたかれ、清らかな水面を見ながら静かにその中から神仏の存在が素直に感じられる思いがしました。

7回の飛行機乗り換え、激辛の四川料理、観光地化の波、土産の均一化、語学力の欠如、現地中国人との交流…など複雑な思いだけが残りました。

いずれ中国の歴史・文化などについて多くの勉強課題が発見でき、まだまだ楽しい中国旅行が続きそうです。

済南市訪問団に参加して



大原典子

済南市の名水を見学し、町の中に自然が多い事に感心しました。レセプションでも友好の集いで同席の時秀芹様といろいろお話が出来、“カンパイ”の事等教えていただきました。

次の日から観光となり成都のパンダの繁育所を見学。世界遺産に登録されたとか。大きくなると自然の森へ帰すそうです。又九寨溝も世界遺産、スケールの大きさには驚くばかり、青の色、五色の池、くじゃくの池等々、水の流れが“どこを流れているの”と思う様な場所、木々の間を何メートルも流れ落ちる水、下に降りると16メートルの巾の滝になって落ちている、唯々感動。水が流れて次々と湖につながって行く様子が目の前に広がっていく美しさに、目をうばわれました。チベット族の人達の生活の様もかいま見る事も出来、大変うれしい旅でした。

通訳をして下さった方々も大変良い方達で、いろいろとお話が出来て楽しい時間

を過ごす事ができました。

感謝、感謝でした、ありがとうございました。

CHINA 駆けある記 《山口市・済南市 友好訪問団に参加して》

岡 秀 夫
イツ子



中国に“走馬看花”という言葉がある。疾走する馬上から花を見る、と言うことらしい。

将に“走馬看花”の旅、なにを語って良いか迷いに迷ったが、以下思いつくままに…

昭和62年5月、済南市と姉

妹友好都市となって間もない頃、農業視察団の一人としてこの地を訪れた。あれから19年、めざましい発展を遂げつつある中国をかいま見て、只々驚嘆するのみ。

2年後のオリンピックに備えて、大規模な建設工事が続いているが驚いたことに、環境への心配りが非常に行き届いていることである。

街なか、観光地を問わず総てが往時に比べてとても綺麗になっている。世界の大国たらんとする意気込みが強く感じられた処である。

歓迎レセプションでは、山口県書道連盟理事長荒瀬宏先生のご協力を戴き、書道吟を未熟ながら発表する機会を与えられ、終生忘れ得ぬ感動を得ることができた。

総合司会を務められた済南市人民政府外事弁公室の李忠学氏は、当時私たちが滞在中、終始面倒を見て頂いた方。その後幾度かお会いしているが、とても懐かしい人に出会うことができた。

観光では、世界遺産九寨溝ルートを選んだ。四川省成都空港から九黄へ、何とこの空港は標高3,500m、驚いたことにこの標高で草木が生い茂っている、我が国では、3,000mを越えて草木の生えている山は皆無と思うが…

飛行場からバスで九寨溝へ、途中山間に点在する民家や到るところに5色の幟がはためき、この地方独特の風景を織りなしていた。5色は我が国でも五輪の塔で知られる、空、風、火、水、地を表し、この地方に住む少数民族の心の拠り所とのこと。

九寨溝は、四川省の北部、南坪県の岷山山脈の奥深いところに位置し、手つかずの原生林の中に108の湖、泉、瀧などが分布し、エメラルドグリーンに彩られた将

に秘境。この世のものとは思えない美しさにしばし我を忘れることができた。

本件交流訪問団実行委員会、近畿日本ツーリスト山口支店並びに山口市国際交流室等関係各機関、携われた多くの皆さまの行き届いた心配りのお陰様で、貴重な体験と忘れることのできない思い出に加えて、新しいお友達を多く得たことに感謝致します。
謝々

九寨溝の観光のこと



武永 喜代栄

夫に誘われてふと行く気になったのが癒しをもとめての旅でした。桂林と九寨溝はどちらも一度は行って見たいと思っていたところであり、夫が九寨溝へいきたいというのでそちらを選ぶことにしました。

成都で四川料理を楽しんだ後、空路九寨溝へ向かいました。空港について驚いたのが、標高3,500メートルであるとのこと。よくまあこんなところに飛行場を作ったものと驚くとともに感心したりもしました。宿泊する九寨溝のホテルは空港から下って標高2,500メートルにあるとのことバスに乗って1時間30分、そこもしっかり高地でした。

九寨溝は、ヒマラヤと同じ、海底が隆起したもので、雪解け水が石灰質の山から流れ出るため炭酸カルシウムを多く含んでおり、それが水の中の細かいゴミなどについて沈殿したり、倒木の表面について自然の造形美を作り出し、独特の湖の色を出しています。これがすごく心に残りました。また、九寨溝は標高1,000メートル差のあいだに湖が連なり、その湖をつなげる数々の美しいせせらぎと滝で作られている景色でした。せせらぎは林の中を流れるがごとくで日本では見ることがない風景であり、滝は美しい珠の連りのようでまさに神秘の風景でした。滝から発生するマイナスイオンは心おだやかにさせてくれ、リラックスでき、至福感のある光景でした。

今回は6時間程度の滞在ということで、名所（とはいっても全部が名所なのですが）のみを駆け足で回るダイジェスト版の観光、本来であれば1～2日かけてゆっくり景色を楽しむことができればどれだけ素晴らしいことかと強く感じました。

残念なのは、帰りの空港で3時間程度飛行機の出発が遅れ、標高3,500メートルへ

ずっといたせいか、酸素不足でまいってしまい添乗の方へ大変ご迷惑をおかけいたしました。今度行くときは、必ず酸素マスクを準備していかなくてはと思っていますが、又のチャンスがあるのでしょうか。

山口市済南市友好交流訪問団に参加して



武 永 清 實

今回、7月11日～15日の訪問団の案内チラシを頂いた時、訪問団の親善の目的もさりながら九寨溝の観光に強く惹かれて応募したことは確かであります。

中国へは今回を含めて3度目で前2回は改革開放政

策がスタートしてしばらくの時期であり、経済特区として深圳やその他の地区が大発展を開始した10年以上も前のことでありました。

特区の中は豊かな生活が見られましたが、それを外れた都市では服装はみすぼらしく、子供たちは裸足が多く、走る車も古く、牽引車として日本の昔の耕運機が使われており、一般道路を低速で堂々とはしる風景が多く見られたことを思い出します。

今回の済南市の訪問では、この間の経済発展がどのような形で見られるのか観光とあわせて楽しみにしていた点でもあります。

さて、2日目の済南市内観光で百脈泉まで走った道路の整備状況は、想像を絶するものであり、国土の広さ、土地所有権が国家に属することによるものとは思いますが、片道5車線、副車線2車線が主道路として整備され、整備された工業団地には建設中の工場(?) (しかも建設クレーンが10本以上見られる大規模なもの) が約1時間のなかで20箇所以上見られました。このことから、済南市全体ではこの5倍以上の建設工事が進められていることが推定され、巨大な投資が現在も進められており、そのことで雇用が創出され市民生活を支える力になっていることが良くわかりました。ただ、このような巨大な道路を横断するのはその地域の住民であり、彼ら在必死に走って渡っているのを見ると、その点でのインフラ整備はこれからの課題なのかなと考えさせられました。

また、済南市の都心部の車の多さ、それらの車のグレードの高さは目を見張るものがありました。(車の運転の荒っぽさはすさまじく、この国では絶対に運転などできないと思いました) そして、中国の乗用車の価格は日本より高いくらいだと聞

きましたが、それでもこれだけ多くの車輛があふれているのも市民生活への高い経済発展の恩恵があるからだろうと思いました。また、服装については男性女性とも華やかで、このまま彼らが日本の街を歩いても何ら違和感を感じさせないものでありました。若い人たちのファッションの普及は速く、それは又若い人たちの所得がアップしていることの証なのであると感じました。沿岸部と内陸部の所得の格差が言われていますが、済南市ではそのようなことは感じられませんでした。済南市位になると内陸部とは言わないのかもしれませんが。(あくまでも日本人的な発想での比較ですが)

済南市での市当局の主催レセプションでは、済南料理と華やかなショーでもてなして頂き楽しい時間を過ごさせていただきました。日本・中国政府のトップレベルではいろいろと課題があるようですが、地方行政や民間レベルでの交流を深めていくことで、一衣帯水の諺のように双方の国の友好と連帯を深めていくことができるのだと思います。(過去の日本の過ちをきちんと理解し、再び繰り返さない思いを胸に)

最後に、われわれに暖かいおもてなしをいただいた済南市行政当局の皆様と、九寨溝まで旅行の随行をいただいた済南市外事弁公室の韓処長に深くお礼申し上げますとともに山口市長および国際交流室の皆様にも大変お世話になりました。ありがとうございました。

山口市・済南市友好交流訪問団に参加して



田 中 洋 典

このたび、ご縁があって、山口市・済南市友好交流訪問団に参加する事ができました。

中国旅行は初めてのことで、食事や治安に少々心配がありました。実行委員会のご尽力と参加メンバー

に恵まれて、大変すばらしい中国旅行ができましたことを、心より感謝しております。

中国の印象は、とにかく凄かった！

まず、経済は著しく活発で、空港や高速道路は、大陸的スケールで整備中であり、日本を超えそうです。各地では都市化が積極的に進められているようですが、特に近代都市を目指して発展中の上海では、驚異的な躍動を実感しました。

次に、広大な中国には、長い歴史や文化に育まれた景観が点在し、一方では大自然が造りだした絶景がたくさんあり、観光の宝庫を思わせます。そのうち、九寨溝は、森と湖が造り出した絶景の自然美で、まさに別世界にいる思いでした。ぜひ、一度は行くべきところ。

また、中国旅行の楽しみ（私はちょっと心配）の食文化は、中華料理の代表「四川料理」と「上海料理」を本場で味わうことができ、多くの名菓を味覚しました。なかでも私ごとですが、四川式激辛料理と日本のソーメンの味は絶対忘れません。（村田添乗員さんのご配慮に感謝します。）

現在は、再度の中国旅行を期待し、健康管理に努力しています。

終わりに、大変お世話になりました実行委員会の関係各位ならびに参加者の皆様方に改めて心より感謝いたします。

山口市・済南市友好交流訪問団に参加して



西村 つづり

私はこの旅行に一人で参加しました。

そのため、ツアーメンバーの皆様にはとても気にかけていただき、自分が予想していたよりも遥かに楽しい旅を過ごすことが出来たと思います。

以前生活をした事のある済南市では、個人行動の時間を頂いて友人に会ったり懐かしい場所に出掛けたりと今の中国を満喫することが出来ましたし、レセプションや成都・九寨溝では歴史ある中国の素晴らしさ・面白さを再発見することが出来たと思っています。

帰国後の現在、私は再び中国語と向き合っています。

この旅で出会えた人々や目にしたもの、行った場所から受けた新鮮な驚きや喜びを忘れずに、今後も新たな発見を求めて様々なことに挑戦していきたいと思っています。ありがとうございました。

山口市・済南市友好交流訪問団に参加して



藤村 美由紀

最近、偶然かもしれないが、中国語を耳にすることが多い。私のまわりに中国人が増えた…訳でもない。いや、私が中国語に耳を傾けているからだ。

数年前から中国語を学んでいることもあり、私レベルの草の根交流を目標に、民間交流訪問

団として今回訪れた。中国本土初上陸を果たす！書籍の中で語られている中国と違う。目の前に見える中国は近代的な都市。「百聞は一見にしかず」とはこのことだった。

百脈泉や趵突泉、李白や杜甫が詩を詠んだ大明湖。夏の水辺は涼しさを誘い、柳のしなやかな枝をフィルターに見る風景が、私に心安らぐ懐かしさを感じさせた。済南市を観光して、日本の水が恋しくなった。

山奥へと向かう車窓から観光客が溢れるように見え、多国籍の言葉が雑音のように聞こえた時、少し期待が薄れた。私は湖底を覗き込む、木々に目を凝らす…九寨溝の夏色「緑」は「自然」をそのまま保ち続けている。人跡が稀であるこの地は私の想像を越え、人の気配を消し観光客も呑みこむ静寂さをもっていた。やはり自然は偉大だ。「童話の世界」と誉れる秘境に私は足を一步踏み入れた。

山口市と済南市の友好が私を中国に引き寄せた。中国旅行で衣食住を体験し、興味が湧いてきた。私の住む山口市にはどんな歴史や文化があるのだろうか。中国の歴史や文化についても知りたくなった。

私はこれからも言葉を通して旅に出かけるつもりだ。

「山口市・済南市友好交流訪問団」に参加して

林光院 とし子

「さすが中国大陸、広い!!大きい!!多い!!」

広々とした平地に林立する高層ビルやマンション、溢れんばかりに行き来する



人々。どこまでも一直線に延びる5車線の幹線道路とひしめく車。九寨溝への機上から見える雄大な景色。「すぐそこです」が数キロ先、「すぐ行きます」が数時間後、というのも頷ける。

今、経済開放に大きく舵を切った中国の変貌ぶりは凄まじい。そのエネルギーに圧倒されながら、我が国との違いを痛切に実感した。

お互いに理解し尊重しあうことは友好の基本であり、本当に有意義な5日間であった。パンダの愛らしさと九寨溝の神秘的な美しさ、「水の城」と称される済南市での盛大な歓迎と楽しかった文化交流に満たされながら、親切で一生懸命世話して下さった国際交流室や旅行会社の人達、愉快であたたかい仲間感謝したい。謝謝。

「友好」増進のための今次訪問



山口市日中友好協会

会長 安部一成

1978年以来の十数回目の済南市訪問だから特別の感興はなかったのだが、何人かの古い友人に会えて嬉しかった。市の外事弁公室のスタッフ・グループとは長い付き合いであるが、今回は私たちとの交流を一層密接にする方向を話し合えた。わが国

での嫌中感、中国での嫌日感がかつてない程の高まりをみせている昨今の状況からして、私は外事弁公室の責任者が日中友好協会との交流において、もっと積極的な姿勢をとりたいたいと言明したことをとても喜ばしく思っている。

私個人としては、市役所を郊外寄りに移転して新しい都市核の形成を図ろうとしている計画に関心を抱いていて、この度は移転場所を大まかに知り得たにとどまったが、5年位先に訪ねると、都市内構造の大きい変化にいささか刺激を受けるだろうとの想像がかき立てられたのである。

いつものことではあるが、山東大学に出掛けた。中国の数ある大学で日本の市民団体と交流しているケースは殆どないのであるが、山東大学は山口市日中友好協会との関係を重視して「国際交流特別顧問」を4人も依頼している。十数年も続いている「成人人大学」を絶やさないようにするなど、友好促進にお互い努力することを願望し合った。

私は山東大学を訪ねる度に、猛烈な発展速度と学生たちの強い勉強意欲に深く感銘する一方で、十年先の日中間における創造活力の優劣差で、ますます悲観的な見通しに陥るのを寂しく感じてならない。

訪中記 実行委員長の任を終えて

大隅博志
美登里

中国の国内情勢が不安定なため、昨年以來延期していた山口市・済南市友好交流訪問の訪中が、去る7月、1年ぶりに実現しました。実行委員長を勤めた私も、な



んとか大任を果たす事が出来て胸をなで下ろすとともに、妻と共に訪問し、楽しむことができました。

1年もずれ込んだ訪中にもかかわらず、市の公式訪問団の8名を含めて67名の大型訪問団となり、また文化交流の役目も果たしました。これもひとえに実行委員会の山口市、山口市日中友好協会、山口商工会議所、

山口観光コンベンション協会、山口文化協会の5団体が総力を結集して下さったお陰です。

山口文化交流は、詩吟、書道、茶道を交流会の席上で披露されました。岡秀夫さんが張継作「風橋夜泊」などを吟じ、これに合わせて荒瀬宏さんが筆を揮う「書道吟」は好評だったと思います。私も舞台の進行に合わせて、漢詩のカードを済南の皆様へお見せする役を勤めました。共に漢字の国ですから十分に伝わったと存じます。

山口市と済南市の友好都市締結は1985年（昭和60年）ですから今年で21年目になります。これからも折目節目に今回のような市民交流が実現することを心から期待いたします。

最後に一行を代表された渡辺市長、済南市との折衝に尽力された、市国際交流室の宮崎室長に厚くお礼を申し上げ、私の訪中記をしめくくらせて頂きます。

旧小郡町と友好交流都市 「鄒平県」を初めて訪れて

大塚博久



1981年（昭和56年）10月、私のはちに済南市との友好都市提携の契機となった堀泰夫市長率いる「山口市友好訪中団」の一員として初訪問以来、同市とは旧知親交の間柄であるが、このたび初めて訪問する事になった鄒平県には以前から是非訪れたいと希望を抱いていた場所であった。

同県には約4,500年前、考古学上「龍山文化」と称する黒陶、灰陶、紅陶土器の出土した一帯として知

られている。1993年正月、山東大学副学長喬幼梅教授が「光明日報」に発表した学術報告は、世界を驚嘆させるに足る一文であった。

それは、従来中国最古の文字とされる1899年河南省安陽県で発見の「殷末」紀元前1300年頃からの「甲骨文字」よりさらに約800年古く、しかも「甲骨文字」とは全く異体の陶片に刻字された11箇の文字の存在を発見したという内容である。その場所こそ「鄒平県丁公村」。

ところが1999年出版の「山東省地図冊」にはこの地名がない。今回県政府の関係者にいろいろ尋ねた結果、この出土遺跡は現在「苑城鎮」という地名であることが判明した。この付近は1991年に龍山文化層の城壁が発見され、山東大学により5回発掘作業が行われ、その「H1235孔」から陶片だけで1,400点余が出土したが、「深鉢」様の底部と自される一片にのみ刻字されていたのである。

「漢字」は「形・音・義」を有する。この刻字もそれ自体の「形」と「意味」を持っていて、しかも数個以上の「文字列（行）」をなしていた。そのすべてが解読されていない段階では、当然学会での激しい論争となった。詳論は避けるが、現在ではほぼ「最古」の漢字であると認められている。

今回「龍山文化層」に属する東側城壁の一部から出土したといわれる遺跡全体の景観を眺められなかったのは、「宝の山に入って宝を見ず」の類で誠に残念ではあったが、いつか必ず再訪を果たしたいと願いつつ、帰国した次第である。

参考文献

阿辻哲次著「漢字の文化史」（NHKブックス721）1994年11月25日発行
「AERA」（朝日新聞社）1993年2月23日号所収「特集」

訪 中 報 告



山口市日本中国友好協会
田 中 了

2006年（平成18年）7月11日より15日まで中国山東省済南市と鄒平県を訪中しましたが、その間で7月13日17時より山東ホテルにて、済南市外事弁公室（李忠学主任・時秀芹副主任・

劉艶秋副主任・干魯閩通訳・龐龍通訳）と山口市日本中国友好協会（阿部一成会長・大塚博久副会長・大隅博志副会長・田中了理事長・松永和生事務局長）が、今後の山口市日中友好協会と済南市との友好交流の方法などについて種々協議しました

が、皆様にもご承知願いたいと思いその一部をご紹介します。

当協会の阿部会長は、かねてより謝玉堂済南市長（前市長）に対して「日本には市民団体の日本中国友好協会がある。中国でも北京には中国日本友好協会がある。済南市でも市民団体の中日友好協会を作って欲しい」と申し入れをしていました。

済南市外事弁公室李忠学主任は、そのことに触れ「要望のあった済南市で市民団体を組織する事は非常に難しい。しかしながら中国には人民対外友好協会という組織があるので、済南市はその組織を強化する方向で対処したい。具体的には、国際担当の副市長を名誉会長とし、会長には私＝済南市外事弁公室李忠学主任が、秘書長には時秀芹全外弁副主任を、事務局長には干魯閩全外弁通訳を充て対処する」との回答がありました。

今後は、行政面では山口市が1985年9月20日締結の友好都市協定により、済南市との友好関係の強化を図り、市民間では山口市日本中国友好協会と済南市人民対外友好協会が両都市市民間の友好交流・連帯の強化を図る役割を担うことが明確化されました。

今後は済南市人民対外友好協会との連携を強め、更に一層中国の文化・芸術等の紹介にも努力しようと考えております。

済南市・雛平県訪問記



山口市日本中国友好協会
松 永 和 生

今までヨーロッパへは何度も行きましたが、中国へ行くのは今回が初めてでした。それだけに、中国を知るよい機会になりました。

夏の済南は暑いと聞いていましたが、本当にその通りで、湿気も多く蒸し暑かったです。交通マナーも、よく言われているようによくありません。

特に、クラクションをすぐ鳴らすのは習性になっているのでしょうか。でも、ビールはとても美味しく、しかもいくら飲んでも酔わないようです。中国のビールと言えば青島ビールが有名ですが、済南市で作られたビールもなかなかのものでした。飛行機に乗る際の梱包の関係で、お土産として買って帰るのが難しいのが残念です。

今回の訪問で最も有意義だったのは、済南市外事弁公室、山東大学国際合作与交流処、雛平県外事僑務弁公室の多くの方々と知り合いになれたことです。これからも相互に行き来して、交流を深めていきたいと考えています。

山口市・済南市友好訪問団添乗を終えて

阿比留 真 二
村 田 有 司



ご参加いただいた皆様、この度は、大変お世話になりました。おかげさまで、無事、病人もなく、帰国できました。振り返りますと、今回の実施は、2年越しの悲願とも言うべき済南市への訪問でした。ですから、実施までは、何事もないようにと祈る気持ちでした。特に台風の動向が気になりつつの出発でした。

出発当日は、2回の事前研修会が功を奏して、初対面といった重苦しさもなく、初めから、和気藹々といった雰囲気、バス車中に感じられ、これは、楽しい旅になるといった予感を胸に秘めつつ、上海へ、到着。ノスタルジーが、売りだった上海

も影を潜め、大都会へ変貌を遂げつつ、商魂だけは、昔のままだった。済南市では、外事弁公室の龐さんの案内のもと、市内観光、公式行事と時が刻まれ、交流会では、山口から、もって行った、「そうめん」を現地の方にも食べていただくと思いましたが、参加者の皆さんに、一番喜んでいただきました。3日目からは、桂林コースと、九寨溝コース、公式訪問団に分かれての日程になりました。九寨溝コースは、天候にも恵まれ、再びの「そうめん」にも恵まれ、絶景を楽しまれました。桂林コースは、昔の真っ暗な夜道の面影はなく、町中ライトアップされた、国際観光都市と、昔ながらの風水画の世界の「灑江下り」も晴天と、絶景に負けず劣らずのモデルマダム達の写真撮影会が繰り広げられました。常に笑いが絶えない様に、次々にエピソードを繰り広げていただいたKさん、影でいろいろ、アドバイスを下さった、私のルームメイトのIさん、心から感謝申し上げます。最後に、今回の旅の前に、捻挫した足を皆さんに気づかれないようにしていましたが、残念ながらバレバレでした。引きずりついでに、みなさんを何年後かに、また実施されるであろう済南市の訪問団に、引きずっていかうと心に決め、今回のお礼に代えさせていただきます。

最後に、実行委員会立ち上げ当初から、リーダーシップを発揮して、先頭に立ってひっばっていただいた大隅実行委員長、実務担当で、現地との交渉をしていただいた宮崎室長、一緒に企画から協力いただいたJTBの山極主任、サンデン旅行の西山主任、それから、実行委員の方々に、紙面をお借りいたしまして厚く御礼を申し上げます。謝謝。

山口市済南市友好交流訪問団に参加して



武田 寿生

広大なる国土と、目覚しく発展している中国に感嘆した暑い5日間だった。

この度、公式訪問団に市議会議長として参加した。友好都市締結から21年が経過し、盛んに民間の交流も行われているが、済南市訪問は私にとって初めて

である。600万人を擁する大都市済南市は時節柄当然だが、暑かった。無数の湧水で泉の街ともいわれることから、涼しさを期待していたが、高速道路が縦横に走る都心は東京と変わらず、コンクリートの街だ。

6月に来山した鮑市長と再会した盛大な歓迎会や、市内の豊富な湧水を利用した公園や企業団地、ハイテク工業開発区等を視察し、友好を深めた日程を終え、民間訪問団と別れ、3日目は旧小郡町と友好都市であった鄒平県を訪れた。

県とはいえ、日本でいえば町にあたる60万人の街での宿泊は山の上のリゾートホテル。地元の人にふれ合ったり、街の散策はまず不可能、隔離されたようなものだ。しかし、鄒平県政府の建物や世界でも1、2の生産量を誇る「魏橋創業集団有限公司」の本社見学、学校の訪問などの日程を経ていくと、だんだんと親しみを覚える。新しい山口市とこれからどう友好関係を深めていくか、経済的なつながりを持つことが出来るのか、「実験中学」の子供たちの熱烈歓迎を受け、山口市の子供たちとの交流は、などと今後の交流について考えてみる。今回は議会を代表して参加したが、他の議員にもぜひ訪れて欲しいとも思う。済南市と規模を比較すると山口市により近いと思われることから、今後の友好交流に期待がもてる鄒平県訪問であった。

鄒平県でのおもてなしは30度の白酒（パイチュウ）、小郡町長時代に訪れた岩城収入役の事前注意は頭にあったが、「乾杯」を断るわけにもいかず、何度か受けたまでは覚えているが気がつくともベッド。恥ずかしくもいい思い出である。総理の靖国神社参拝問題で反日感情等マイナスイメージがある中、直接、中国にふれる機会は私にとって、とても有意義な5日間だったことは確かである。

済南市を訪問して



西村伸博

この度、山口市公式訪問団の一員として、中国済南市と鄒平県を訪問いたしました。済南市は、山東省の省都で、政治・経済・文化の中心となる街で、北は黄河が流れ、南は泰山山地がそびえる2600年の歴史を持つ、

自然と都市とが調和した素晴らしい都市であった。

市内には、100以上の泉があり、「泉のまち」の名にふさわしく、視察した泉水でできた大明湖や趵突泉は、景観も素晴らしく多くの観光客や市民も訪れる公園で、心を癒してくれる最高の場所でした。

また、済南市・鄒平県の開発区は、日本では考えられない規模の整備で、特に済南市の学園都市構想は、整備途中ではあつが、大学13校を一箇所にまとめ、それを核として面積43平方キロメートル（旧小郡町の面積に匹敵する）、人口40万都市という整備計画で、発展する大国中国の全貌をかいま見たような気がしました。

今回の訪問は、民間訪問団の皆様と一緒に訪問でき、子供たちの演奏や歌手による日本の歌の披露など、盛大な歓迎を受け、訪問団の皆様からは、書道吟や茶道を披露されるなど、思い出に残る楽しいときを過ごすことができました。このような市民同士の心温まる交流こそ、今後の国際交流のキーポイントだと、改めて痛感いたしました。これまで培われてきた市民同士の交流に携われてきた皆さんに感謝をいたします。

追伸

鄒平県でも、中学校を訪問した際、生徒さんたちから「歌」、「踊り」など、盛大な歓迎を受けております。

山口市・済南市友好交流訪問団に参加して



吉 武 直 樹

私が中国大陸に渡るのは、今回で三度目、一度目は20数年前私的に、二度目は4年前に公的に、三度目は、このたびの友好訪問団でした。

今回は、済南市と鄒平県の2都市への訪問でしたが、鄒平県には、旧小郡町時代に、元町長

と元議長と通訳の四人で友好訪問をしました。

済南市は、新山口市と比べると、あまりにも広大過ぎて、人口も多過ぎて、釣り合いがとれないほどの大都市です。

鄒平県は、新山口市より、面積も広く人口も多いのですが、交通のまちであることや親しみやすい人柄からして、対等に付き合える都市だと思いました。

このたびの訪問で、鄒平県の目覚ましい発展ぶりには、本当にびっくりしました。四年前に新築中だった県庁舎も、立派に完成し、道路も整備され、周辺には、数々の住宅や公園が整備され、見違えるばかりの風景と変わっていました。つくづく中国人の持つ地道なパワーの偉大さを実感したところです。

また、数人の友人とも元気な笑顔で再会ができ、皆それぞれにますます活躍をされており、懐かしさと嬉しさで感激をしたところです。

さらには、旧小郡町が贈呈した、5周年記念の時計台も、時を正確に刻み続け、10周年記念の桜花園のサクラの木も、たくましくすくすくと成長をしているのを確認し、正直ほっとしたところです。

再び行けるかどうかは、わかりませんが、今後も友好交流を続けていきたいと考えています。

山口市・済南市友好交流訪問団に参加して



中 村 千 里

7月11日から5日間、市長随
行として済南市及びすう平県を
訪問させていただきました。滞
在中、円滑に市長が公務をでき
ましたことは公式訪問団の皆様
をはじめ、市民訪問団の皆様の
御協力があったのことだと思っ
ています。この紙面を借りてま

ずもって厚くお礼申し上げます。

さて、中国及び中国語に興味がある私は、中国へ既に十数回訪問していますが、済南市は実に10年ぶり2回目、鄒平県ははじめての訪問でした。私自身この度の訪問で済南市の大きな発展を、そして鄒平県と旧小郡町が素晴らしい交流をされていたことを実感できたことはたいへん意義深かったと感じております。私が10年前に訪れたであろう済南市の植物公園周辺は当時の面影がないほどの変貌ぶりでしたし、鄒平県実験中学での心温まる歓迎はとて素晴らしいものでした。

合併して1年を迎え、新しい山口市と済南市、鄒平県との交流がさらに大きく発展していくことを願ってやみません。

中国を訪問して



山口市議会事務局

時 乗 鈴 代

山口市公式訪問団として中国山東省の済南市と鄒平県を訪問し、両都市との交流という貴重な体験をさせていただきました。

済南空港では、副市長さんからのお出迎えという熱い歓迎をいただいた。済南市での歓迎宴会では子ども達の演奏や歌による歓迎に対して、山口市訪問団の皆さんは「書道吟」と「茶道」の披露をされ、心のこもった交流が行われた。

鄒平県のホテルでは、キラキラ輝く瞳が印象的な少女たちから、公式訪問団一人ひとりに花束が渡され、心和む歓迎を受けた。鄒平県と旧小郡町との交流はそのまま引き継がれており、小郡から贈られた時計は確かに時を刻んでいた。また、「実験中学」では生徒による歓迎演芸で心温まる時間を過ごした。鄒平県のホテルを出発する朝、滞在中、訪問団の案内をしてくださった副県長さんが、私たちといっしょに朝食を取られ、本当に親しみあふれるおもてなしをいただいた。

友好都市である両都市との交流が今後も発展し続けていくためにも、今回、市民訪問団の皆さんが取り組まれたような文化交流等を通じて相互に理解を深めていくことや、お互いが思いやり、心を通わせていくことが大切であると感じた。

山口市済南市友好交流訪問団



高原尚子

今回、済南市へは四度目ではあるものの、公式訪問としては初めての機会をいただきました。私が初めて済南を訪れたのは1988年のこと。山口市で開催された中国物産展で知り合った書道家の先生を訪ね、そこで、

生まれて初めて中国の方々の「熱烈歓迎」ぶりを体験しました。お酒の飲めなかった私はお酒の代わりと勧められるまま、親戚中の方々が総出で作ってくださった、手作り餃子やテーブルいっぱい用意された美味しい料理に次々と手を伸ばし、食べすぎで動けなくなるほどのご馳走をいただいたことが印象深く思い出されます。

あれからおよそ20年。久しぶりに訪れた済南市は、中国の方々の「熱烈歓迎」と、満々と水を湛えた大明湖の静かな趣以外は、大きく様変わりしていました。様々な分野で進められている開発のスケールの大きさ……。中国語通訳として、常に中国の勢いの凄さは実感させられている身ではありますが、済南市の勢いと開発への意欲には驚かされました。

ただかつての日本がそうであったように、発展し続ける中国にも正の面と負の面が共存しています。済南市との友好提携から20年。日中関係も確実にかつてとは変わってきています。開発への賛美の言葉ばかりでなく、時には私たち日本人の苦い経験を正直に伝えることこそが、彼らの「熱烈歓迎」に誠実に応えることになるのかもしれない。これからも真の友人同士として、子々孫々まで良好な関係を続けていけるよう、願ってやみません。

友好都市済南市と交流都市鄒平県を訪問して



宮崎 高行

中国済南市には、昨年、友好都市協定締結20周年を記念し、民間訪問団の皆様と訪問する予定でしたが、諸事情により延期となり、申し込みいただきました皆様には大変御迷惑をおかけいたしました。今年

年は、実行委員会の皆様に再度、このような企画を実施いただき、多くの市民の皆様の御参加をいただくことができました。誠にありがとうございました。

また、済南市を訪問した際に煎茶や書道吟を御披露いただくなど、準備段階から御協力いただきました皆様にお礼を申し上げます。お陰をもちまして、相互の文化のつながりをお互いに感じる事ができる交流となりました。

私も済南市・鄒平県を初めて訪問しましたが、想像以上の開発が行われ、近代化が急速に進んでいる状況に驚きました。しかし、一方では、お会いする方々に大歓迎で受け入れていただき、心のこもったおもてなしを受けました。これまでの交流で育まれたものが息衝いていることを肌で感じる事ができた訪問でした。

参加いただきました皆様には、不行き届きのため御迷惑をおかけした点もあろうかと思いますが、今後も国際交流の推進に御協力いただきますようよろしくお願いいたします。ありがとうございました。またお会いできることを楽しみにしております。

鲍志强会见日本客人

时间：2006-07-13

7月12日晚上，市委副书记、市长鲍志强在舜耕山庄会见了日本山口市政府代表团一行。代表团以山口市市长渡边纯忠先生为团长、市议会议长武田寿生先生为副团长，山口市日中友协代表团及山口市民代表团一同来我市访问。

我市与山口市自1985年9月20日缔结为友好城市以来，在经贸、教育、文化、卫生、体育等方面开展了广泛交流，取得了丰硕成果。2005年10月山口市与周边的4个町合并，成立了新的山口市，选举了新的市长和议长。这次代表团来济，是新山口市市长和议长首次率团来访。

鲍志强代表市政府及全市人民对客人来访表示欢迎。他说，在20多年的友好交往中，双方结下了深厚的友谊。济南目前正以科学发展观为指导，着力建设资源节约型、环境友好型、社会和谐型社会，山口市有很多值得济南借鉴的经验。希望两市进一步扩大交往和民间的交流合作，使友好城市关系再上新台阶。

市政协主席徐华东，市里的老同志李启万、孙常印、张福山会见时在座。（信息来源：济南日报）

[关闭窗口]

鮑志強市長が日本の客人と会見

2006年7月13日

7月12日の晩、市委員会副書記・鮑志強市長が舜耕山荘で日本の山口市政府代表团と会見した。渡辺純忠山口市長を団長とし、武田寿生市議会議長を副団長、山口市日中友好協会の代表团と山口市民の代表团一同が我が市を来訪した。

我が市は山口市と1985年9月20日に友好都市締結をして以来、経済貿易、教育、文化、衛生、体育などの広範な面で交流を展開し、豊かな成果を得た。

2005年10月、山口市は周辺の4町と合併をし、新しい山口市を発足し、新しい市長と議長が選挙で選ばれた。今回の济南市を来訪された代表团は、新しい山口市長と議長が率いる初めての訪問団である。

鮑志強は市政府と全市民を代表し、来訪した客人を歓迎した。彼は話す、20年余の友好交流により、双方、深く厚い友情を結んできた。济南は現在科学発展の観点から指導をし、建設資源の節約、環境、調和のとれた社会に力を入れている。まさに、山口市は济南が手本とする経験をたくさん持っているといえる。両市の交流と民間の交流協力がさらに拡大し、友好都市関係が新段階に進むことを願っていると話した。

济南市人民政治協商会議主席徐華東、市内の古くからの同志、李啓万・孫常印・張福山が会見に同席した。

(情報由来：济南日報)

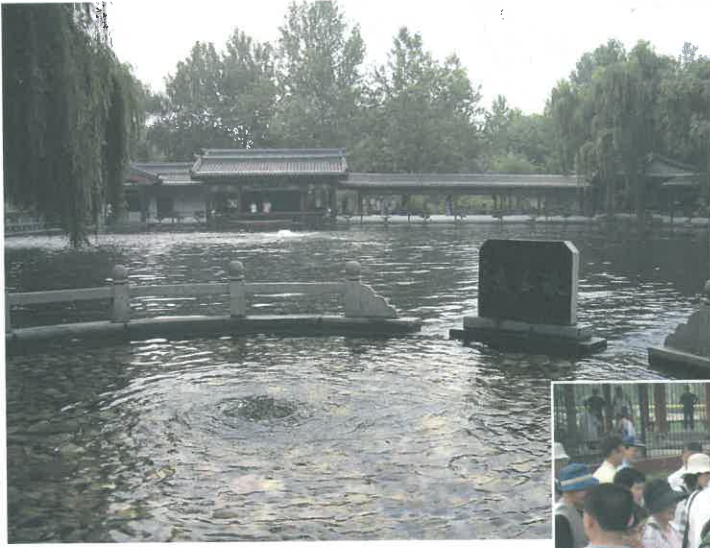
山口市・済南市友好交流訪問団訪問の様子

○ [文化披露（書道吟・茶道）の様子]





○ [済南市の様子]





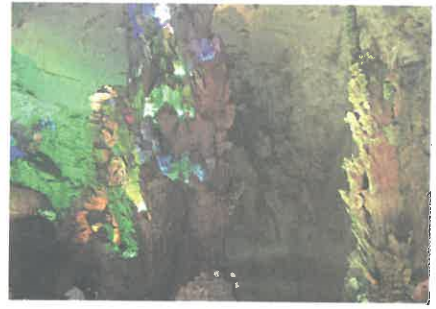
○ [鄒平県の様子]





○ [桂林の風景]





○ [九寨溝の風景]





○ [上海の様子]



